

五三吉、鈴川信一、田邊孝次、森田龜之助、恩地孝四郎諸氏出席せられ、晚餐後に於て會長平田松堂氏の挨拶、岡山秀吉氏の祝詞あり、晚餐後別室にて主事霜田静志氏の挨拶あり、本會成立の趣旨を説明せられ、今後の事業に就て顧問諸氏に依頼するところありたり。

⑩ 図画手工夏季講習會

『東京美術学校校友会月報』第二十八卷第四号に次のように記載されている。

○東京美術学校圖畫手工夏季講習會 八月一日より七日まで、本校〔図画〕師範科教室に於て開催、第一部圖畫の中、日本畫科五人、西洋畫科四九人、第二部手工一五人出席せり、因に課目及び講師左の如し。

第一部 圖畫（八月一日ヨリ七日間午前八時ヨリ正午迄）

（甲）日本畫實習（臨畫及寫生）

講師 東京美術學校教授 平田 榮二
同 助教授 松垣 靄雄

（乙）西洋畫實習（木炭畫、水彩畫、油繪）

講師 東京美術學校教授 田邊 至
同 助教授 三浦 直政
同 助教授 長野 新一

第二部 手工（八月一日ヨリ七日間午前八時ヨリ正午迄）

彫塑實習 講師 東京美術學校教授 水谷 鐵也

木工及版畫實習 同 助教授 松田 義之

漆工製作 〔同〕 東京府立高等學校講師 松岡 正雄

講演（八月一日ヨリ六日間午後一時ヨリ三時迄）

用器畫教授ノ理論 講師 東京美術學校教授 鈴川 信一
及實際 講師 東京美術學校講師 尾川藤十郎

趣味ノ教育 講師 東京美術學校講師 尾川藤十郎

歐米ノ美術教育 講師 東京明星學園講師 霜田 静志

⑪ 白井雨山銅像除幕式

白井雨山は大正九年に彫刻科教授の職を辞し、大阪市、次いで兵庫県に居を移し、文人画に没頭していたが、昭和三年三月二十三日に武庫郡御影町の寓居で死去した。同年七月二十六日、東京市本郷区団子坂の世尊院で北村西望、建昌大夢、吉田久継、柴田正重、畑正吉、沼田一雅、杉本伝、横江嘉純、後藤良、毛利教武、清水宇一ら知己門生が追悼會を催し、その折りに銅像建設と遺作展覽會開催のことを決定し、準備に着手した。

銅像は建昌大夢の手に成り、雨山の親友で彼より一年早く他界した大村西崖の銅像（昭和三年除幕）と並んで建てられ、昭和四年七月七日に除幕式と遺作展覽會が開かれた。その模様は『東京美術学校校友会月報』第二十八卷第四号の「芸苑彙報」欄に記されている。